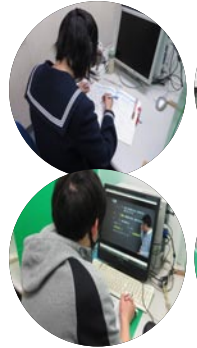




11/19 中3生の学力コンクール



学力コンクール採点後の確認



高校入試まで90日あまり!
今日から12月です。本格的な冬を前にして第8波のコロナ感染が広がってきています。さらに今年はインフルエンザの流行も懸念されています。受験勉強には気力、体力も必要です。そのためには健康管理が大切です。人生に一度しかない高校入試まで90日あまりです。学校では三者面談が始まり志望校を決めるような話しがされます。が自分の第一志望校に向かってまだ90日も勉強できるのです。最終的な決定は倍率発表後の2月に決めれば良いのです。高校入試は人生ではそれほど重要なことではありませんが、それに向かう姿勢と経験はとても大切なことです。大変な格差社会で生きていく皆さんは、高校入試で安易な推薦で妥協し、楽な道を選ばずに、自分の目標や夢に向かって頑張る事が受験勉強です。将来、あの時ががんばって良かったと思う日が必ず来ます。(塾の卒業生はみんなそう言っています)自分の人生です。悔いを残さないようにです!

27日に行われた都の英語スピーキングテスト。真剣勝負の受験の場で「話す力」を客観的に評価し、授業改善などにつなげる狙いだ、

「導入断念相次ぐ英語スピーキングテスト」
全国波及感不透明

懸念の一つは、通信教育大手「ベネッセコーポレーション」がテストを運営することだ。タブレット端末に録音された解答は、英語を公用語の一つとするフリーピンに送られ、現地スタッフが採点する。都教委は「大学の学位を持つ人らが採点にあたる」と説明するが、採点の公平性だけでなく、情報流出への不安が拭いきれないとされる。

都教委が「使える英語力」の育成につながるという導入に踏み切ったスピーキングテストだが、一部の保護者からは活用の見送りを求める声が出ている。

解答は表現の論理性や発音の正確さなどをA～Fの6段階で評価し、それぞれを20、16、12、8、4、0点に数値化。入試では学力検査(700点)と調査書(300点)の計1千点に計算し、合否判定される。

都教委が「使える英語力」の育成につながるという導入に踏み切ったスピーキングテストだが、一部の保護者からは活用の見送りを求める声が出ている。

英語スピーキングテスト初実施
来春の東京都立高校入試で初めて合否判定に活用される英語スピーキングテストが27日、都内197会場で実施され、公立中の3年生ら約6万9千人が受験した。都教委はテストを通じ英語指導の改善も図る考えだが、民間事業者に運営を委ねるテストの在り方や採点の公平性などを疑問視する声も上がっており、入試までに関係者の不安を払拭できるかが課題となる。

公平な採点の難しさなどを理由に反対論は根強い。これまでも、各地の自治体が導入を検討しながら相次いで断念しており、都の取り組みが英語力を向上させるモデルケースとして全国に波及するかは不透明だ。

「採点がハードル」
確かに、学習のモチベーションを上げる効果は期待できそうだが。大阪府は公立高校入試にスピーキングテストを含む英検など民間試験の結果を点数換算し、聞く、読む、書くの3技能をはかる府の入試の得点と比べて高い方を合否判定に使える仕組みを取り入れている。令和4年度の利用者は3505人で導入当時の平成29年度(345人)から10倍超に増えており、府教委の担当者は「学校や生徒に4技能を指導・習得しようという意識が高まったのではないかと分析する。」

もともと、府はこの制度の導入に先立ち、本格的なスピーキングテストの導入も検討していた。しかし、「公平な採点の担保など越えられないハードルがあった」(府教委)として断念した経緯がある。このように、導入を検討しながら「挫折」した自治体は少なくない。

令和7年度入試の公立高校入試から制度を見直す長野県もスピーキングテスト導入を検討したが、今年3月に見送りを決めた。県教委の担当者は「全ての受験生に一律に実施できなくても、推薦入試なら導入できるのではないかと議論を進めてきた。だが、採点の公平性の担保や学校側の負担などを踏まえると無理だと判断した」と説明する。

都がスピーキングテストを導入する目的の一つとして掲げるのが、授業の改善効果だ。学習指導要領では、英語の4技能(聞く・読む・話す・書く)をバランスよく習得するように求めているものの、学校の授業は読み書きに偏りがちなのが実情となっており。都教育委員会は、スピーキングテストで生徒ごとの英語力を「見える化」し、各校の授業の成果を客観的に把握して指導の改善につなげたい考えという。

文部科学省も一定の理解を示している。永岡桂子文科相は今年4日の記者会見で、スピーキングテストの実施に伴う授業の改善効果について、「活用は大変意義がある」と語った。ただ、賛否が割れている入試の合否判定への活用には、「(入試の)実施者が判断するもの」と述べ、評価を避けた。

英語のスピーキングテストの様子はニュースでも報道されましたが、わざわざこれをやることに意味があるのかと思うような内容でした。日本の子どもたち全員が英語を話せるようになる必要などありません。他に数多く興味を持ち身に付けて欲しいことがたくさんあります。

31	土	
30	金	年末・年始休み
29	木	
28	水	
27	火	
26	月	
25	日	
24	土	★冬期講座
23	金	冬期講座準備休み
22	木	
21	水	
20	火	
19	月	
18	日	休塾
17	土	●中3生特講
16	金	
15	木	
14	水	
13	火	休塾
12	月	
11	日	休塾
10	土	●中3生特講
9	金	
8	木	
7	水	
6	火	
5	月	
4	日	休塾
3	土	●中3生等式の変形・角度特講
2	金	
1	木	

英語のスピーキングテストの様子はニュースでも報道されましたが、わざわざこれをやることに意味があるのかと思うような内容でした。日本の子どもたち全員が英語を話せるようになる必要などありません。他に数多く興味を持ち身に付けて欲しいことがたくさんあります。

一人一人の個性や才能を伸ばし、多様な価値観を持てるような教育でなければ、これからの世界、社会で生きていくのは難しいでしょう。

何度も書いてきましたが、今はIQや偏差値、学力など数値で表されるものより、やり抜く力、意欲、やる気、集中力、忍耐力、ねばり強く頑張る力などの非認知能力の方が重要視されているのです!

まだ間に合う、逆転の冬。

公立高校入試まであと92日

過保護・過干渉は子供をダメに! 大きな声であいさつを! 12月の予定

以下は塾で採用しているテキストの出版社エデュケーション・ネットワークの今年の入試問題の分析の一部です。数学も英語も他の教科もそうですが、基礎知識、基礎力が大事なことがわかります。基礎問題の正答率が低いです！

注目問題

一行問題攻略のキは基礎の徹底と、情報を整理する力！

茨城県 大問 1

〈正答率〉40.9%

(2) 2次方程式 $(x+3)(x-7)+21=0$ を解きなさい。

解答 $x=0, 4$

広島県 大問 2

〈正答率〉13.0%

(1) 中川さんは、ミルクティーとコーヒー牛乳を作ろうと考えています。ミルクティーは、紅茶と牛乳を2:1の割合で混ぜ、コーヒー牛乳は、コーヒーと牛乳を1:1の割合で混ぜます。牛乳をちょうど350mL使い、ミルクティーとコーヒー牛乳を同じ量だけ作るとき、紅茶とコーヒーはそれぞれ何 mL 必要ですか。

解答 紅茶 280mL コーヒー 210mL

〈数と式〉

計算問題で要注意なのが、茨城県のサンプル問題のような解に0が含まれる2次方程式や、分数が含まれる計算などの、基本的な問題が低正答率となっていること。展開したり、移項したりという一手間が加わるだけで、計算問題はグッと正答率が下がります。

また、文章題では小学校で学習した「比・割合」の考え方を扱う問題が盲点になりがち。方程式の計算はできて、「何を x (=もとにする量)とするのか」が読み取れない受験生が増えています。平均点が目標となる受験生は入試の前半での失点を最小限にすることが必須となりますが、前半に読解力を要する問題が増えてきているのも事実。典型題の反復練習に加えて、文章題対策も行っておく必要があります。

関数は大問で活用重視？ 一行問題での出題は易化傾向に

〈関数〉

数学でも実用性に重きを置くようになった結果、出題傾向が最も大きく変わったのが関数です。関数分野の大問で1次関数の文章題を出題する県が増えたこともあり、一行問題ではサンプル問題にあるような、グラフの基礎知識に関する出題や2次関数の変域に関する出題といった、「大問内の設問にはしない問題」を出題する傾向が目立ってきています。p.4の表からもわかる通り、低正答率なのは大半が「変域」「変化の割合」に関する問題。特に、鹿児島県のサンプル問題のように文字が含まれる問題は、受験生にとって抽象度が高くなるため正答率が低くなります。また、「変化の割合」が2次関数で問われる場合も、「変化の割合=1次関数のグラフの傾き」と捉えている受験生が多いため、正答率は低くなりがちです。関数の一行問題はパターン化されやすいため、他県の過去問を参考に、あえて違った角度から出題している問題も積極的に対策に取り入れた方がいいでしょう。

秋田県 大問 2

〈正答率〉47.2%

(1) ① 方程式 $2x+3y=-6$ のグラフをかきなさい。

解答 略

鹿児島県 大問 2

〈正答率〉14.8%

1 $a < 0$ とする。関数 $y=ax^2$ で、 x の変域が $-5 \leq x \leq 2$ のときの y の変域を a を用いて表せ。

解答 $25a \leq y \leq 0$

図形は「円」が絡む問題の対策に力を入れる！

〈図形〉

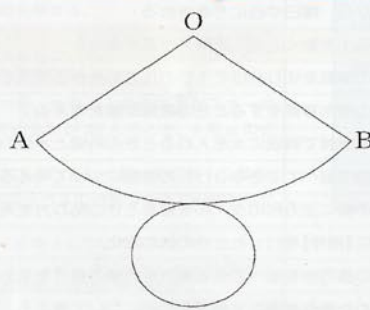
図形の低正答率問題の筆頭は「作図」。使うのは、ほぼ「垂直二等分線」と「角の二等分線」の作図の知識ですが、これらを駆使して接線や図形を作図する問題が散見されます。作図の出題バリエーションも増えてきているので、作図の出題がある県では、いろいろな問題に取り組んでおくといいでしょう。

そして、もう一つ例年正答率が低いのが、おうぎ形や円錐、球など、円の知識が絡む問題です。埼玉県のサンプル問題は、円錐の母線の長ささと底面の円の半径の長ささわかっている、まさに定番の問題ですが、正答率は40%を下回る結果に。作図と違って、円が絡む問題のパターンは限られているので、典型題を確実に解けるようにしておくことが重要です。

埼玉県 大問 1

〈正答率〉36.6%

(1) 右の図は、母線の長さが8 cm、底面の円の半径が3 cmの円錐の展開図です。図のおうぎ形OABの中心角の大きさを求めなさい。



解答 135°

注目問題

重要視される4技能！ ただし、「読む」も「書く」も基礎知識から！

鹿児島県 大問 2

2 次は、Yuko と留学生の Tom との対話である。(①) ~ (③) に、下の [説明] 内の [説明] が示す英語 1 語をそれぞれ書け。

Yuko : Hi, Tom. How are you?

Tom : Fine, but a little hungry. I got up late this morning, so I couldn't eat (①).

Yuko : Oh, no! Please remember to eat something next Sunday morning.

Tom : I know, Yuko. We're going to Kirishima to (②) mountains again. Do you remember when we went there last time?

Yuko : Yes. We went there in (③). It was early spring.

[説明] ① the food people eat in the morning after they get up
② to go up to a higher or the highest place
③ the third month of the year

解答 ① breakfast ② climb
③ March

〈正答率〉

①47.4% ②16.5%
③42.0%

〈単語問題〉

鹿児島県のサンプル問題は、ごく基本的な単語力を問う内容。英語での説明もついているので、間違えようがないと思われそうですが、意外と正答率が低いのに驚かされます。基本的な単語であっても正確に書くという段階になると、不安を抱える生徒が少なからずいることがうかがえます。ちなみに、同じ形式の出題をする秋田県では、Saturday66.5%、library55.5%、popular45.7%、collect23.7%と、同じような結果に。新教科書では、中3までに履修する単語が、小学校で履修した単語を含めて2200~2500語と、これまでの倍近くになっています。しかし、多くの単語は読解に必要な受容単語。発信単語(書けなければいけない単語)のような重要単語は、ひとつひとつ地道に習得していくことが、入試対策の王道になります。